

相模原市（所在地：神奈川県相模原市）

事業名

インクルーシブ・プログラム開発事業

主な連携先

相模女子大学

主な対象

発達障害・知的障害

事業の趣旨・目的

- ・大学の場を活用した、障害の特性に配慮した若者世代の学びや交流に関する開発と実践
- ・教育や福祉等の連携による、学びや交流のための推進体制の検討
- ・理解促進のための情報発信や啓発活動

事業実施体制

連携協議会構成員：コーディネーター、プログラム開発参加協力者代表（勤労青年・学生）、相模女子大学、信州大学、東京学芸大学、支援学校、インクルーシブ教育実践推進校、相模原市社会福祉事業団、民間福祉事業所、相模原市教育委員会（教育センター、青少年相談センター、生涯学習課）、相模原市（スポーツ推進課、高齢・障害者福祉課）

学習プログラムの内容

令和4年度までの実績を踏まえ、以下の2本柱で開発を進めた。

- I. 勤労青年と学生の交流を目的としたクローズドなゼミと、市民を対象としたオープンなセミナーを組み合わせた、他大学でも汎用可能な「**インクルーシブ生涯学習プログラム**」の開発
- II. セミナーの企画運営に携わる「メンター活動」、セミナーの効果検証を行う「リサーチ活動」、セミナーを中心に取材し動画作成する「メディア活動」の3本柱で構成する「**エンパワメント・プログラム**」の実践

※当事者が活動を下支えする一員として活躍する点が、取組みの特長。

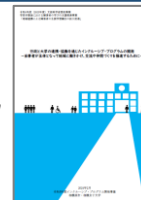
今年度の取組状況

- 生涯学習プログラム
ゼミ活動（全7回）／大学で学ぶ楽しみ発見セミナー（全3回）
- エンパワメント・プログラム
リサーチ（全7回）／メンター（全3回）／メディア活動（全3回）
- 啓発連続講座
「就労」と「生涯学習」をテーマにした講座（全2回）
- 連携協議会
新たな構成員を招くとともに、当事者を交えて意見交換（全3回）
- 成果報告会
信州大学医学部本田秀夫教授の基調講演後、当事者を中心に1年間の取組（プログラムの概要・成果・課題等）について報告

その他

【R5成果報告書】

行政と大学の連携・協働を通じたインクルーシブ生涯学習プログラムの開発



【動画（2023年度）】



【相模女子大学HP】



セミナー



メディア活動



啓発連続講座